

2013年4月1日

## 保健医療学雑誌 編集委員長 挨拶

この度、保健医療学学会の機関誌「保健医療学雑誌 (Journal of Allied Health Sciences: JAHS)」の編集委員長を仰せつかりました関西福祉科学大学の野村と申します。保健医療学学会設立の目的は、第一に狭義のリハビリテーションにとどまらず、人の生活（保健、医療、福祉、教育）に関係する多くの専門領域の研究者や実践者の研究交流の場として、第二にその成果をもって社会に貢献すること、第三に学部卒業後、あるいは大学院終了後の研究継続を支援することにあります。この目的を達成するために、本学会の機関誌である保健医療学雑誌においては、前・編集委員長の石倉 隆 先生を筆頭に編集委員、編集委員会の先生方が力を注がれ、第1巻1号の創刊から多くの投稿論文が掲載されてきました。

2013年度からは、新・編集委員として岩田 晃 先生（大阪府立大学）、大歳太郎 先生（関西福祉科学大学）、甲斐 悟 先生（関西福祉科学大学）、中谷 謙 先生（姫路獨協大学）、長野 聖 先生（四條畷学園大学）、羽崎 完 先生（大阪電気通信大学）、福本 仁志 先生（城山病院）にご就任頂きました（五十音順）。また、編集委員会に編集実務担当を置き、投稿者との諸種の連絡や採択から論文発行に至るまでの一連の作業の支援をより一層行えるように組織を編成いたしました。保健医療学雑誌では、より専門的な論文の査読や迅速な対応を望んでおられる論文にも対応できるように、これまでよりもさらに編集委員、編集委員会体制を充実させておりますので、皆様からのご投稿をお待ちしております。

今後も保健医療学学会設立の目的に寄与できるよう、また、学術的にもより発展していくために新しい企画等も考案しながら、尽力したいと思っております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

編集委員長

野村 卓生（関西福祉科学大学）